

# フィランソロピー大会 OSAKA2019

## パネルディスカッション 「新たな連携の創出に向けて」

学校法人関西大学 理事長 池内啓三

# 関西大学の歴史

第1期:1886(明治19)年 関西法律学校(**夜間の私塾**)  
願宗寺→興正寺

← 14年間

第2期:1900(明治33)年 **社団法人**私立関西法律学校  
江戸堀校舎(初の自前校舎)、1906年福島校舎

← 20年間

第3期:1920(大正9)年 **財団法人**関西大学  
1922(大正11)年大学令により「関西大学」  
(法学部と商学部)認可

← 31年間

第4期:1945(昭和20)年 終戦  
1948(昭和23)年 新制大学制度  
1951(昭和26)年 **学校法人**関西大学

← 68年間

# 歴史と伝統

- 1886(明治19) 年

近代市民社会にふさわしい  
法律知識の涵養

児島惟謙以下12名の創立者



第11代学長・総理事  
山岡 順太郎

- 1922(大正11) 年

学理と実際との調和

国際的精神の涵養



外国語学習の必要

体育の奨励



### 社会連携全般

1. 本学の知的資源と学外の社会資源との融合により、新たな知の創出と活用を戦略的かつ効果的に推進することにより、我が国の社会、産業の発展に貢献する。
2. 公的機関・地方自治体・企業をはじめ、社会との連携を推進することにより、実践的な教育研究活動を通して社会の発展に寄与できる人材を育成する。

### 産学官連携

3. 国内外の事業者及び公共団体等と連携することにより、本学における教育研究活動の成果を積極的に地域社会や産業界のニーズに結び付けることで、経済の活性化と社会的諸課題の解決に貢献する。

### 知的財産

4. 学術研究成果の知的財産化を促進すること及び国内外の事業者等へ当該知的財産権を移転することにより、新技術・新産業の創出に寄与する。

### 地域連携

5. 地域社会との連携の拠点として、本学及び地域社会が有する知的・人的資源を相互に活用し、教育研究活動の活性化とその成果をもって、本学及び地域社会の発展に寄与する。

### 高大連携

6. 「次世代の育成」という使命を共有する教育委員会、高等学校、中学校、小学校、幼稚園、支援学校等との連携を促進し、相互の人的・知的交流を通じて、学校・園及び大学双方の教育・研究の一層の充実並びに地域社会における教育活動及び教育環境の向上に取り組む。